



森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園 7月園だより

平成29年6月30日
園長 新井 智子

〒108-0071
港区白金台
3-7-1
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>



今年のわくわくまつり

園長 新井 智子



梅雨の晴れ間、「わくわくまつり」が今年も開催されました。早いうちから、お祭りのために、お祭り委員さんを始めとする保護者の皆様、そして年長児が準備をすすめてきました。この日を子どもたちは、その名の通りわくわくしながら待っていました。始まりは、お神輿です。本格的なお神輿をはっぴを着た子どもたちが「おみこし わっしょい！」と担ぎ、威勢のいい掛け声をかけて園庭を一周まわりました。3歳児も手作り神輿を担ぎました。提灯の飾りの下で、笑顔が弾けます。

子どもたちは、森の園庭に広がるお店やゲームコーナーを心躍らせて回りました。毎年恒例のゲームは、今年なりのアレンジがあり、保護者のお店番や裏方のお仕事も大変スムーズでとても工夫された運営でした。また、年長組は、的あてと金魚すくいのゲームをそれぞれ創意を駆使して作り、当日お店屋さんとして役割をもち、一生懸命年下の友達の面倒をみました。長い列ができ、嬉しい忙しさとなりました。

今回のお祭りで、特に印象に残ったことは、「相手を考える思いやりある姿」が随所に見られたことです。保護者の皆様は、「列の末尾がわかるように」「ダイナミックなアスレチックができるように」と子どものために考えて用意してくださいました。当日も子どもたちにはもちろん、未就園の親子への声掛けをしたり、裏方のゲームの操作を汗だくで行ったりと、自分よりも相手が楽しんでもらえるようにと、心配りが素晴らしいものでした。年長の子どもたちは、「小さい友達にわかるようにするにはどうしたらいいか」「楽しい雰囲気にするには、何が必要か」など考え、当日もいろいろなことに柔軟に対応する頼もしさが見られました。お祭りは、幼稚園、保護者、地域、子どもたちが一つになって、みんなのために運営する手作りのものです。誰もが満足できる完璧なものではありません。けれども、お祭りに関わる全ての人が、来てくれた人に喜んでもらおうと、一生懸命に取り組み、もてなしました。おかげ様で、感動と感謝いっぱいの温もりのあるお祭りとなりました。お祭りをつくりあげ、盛り上げてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

<今月の指導のねらい>

- 3歳児 ○ 教師や友達のそばで、好きな遊びを楽しんだり、してみたい遊びをやってみたりする。
- いろいろな水遊びを通して、水の心地よさや楽しさを感じ、水に親しむ。
- 所持品の始末や着替えなど、園生活に必要なことを自分でしようとする。
- 4歳児 ○ プール遊びの身支度や準備、後始末の仕方が分かり、自分でしようとする。
- いろいろな水遊びやプール遊びを通して水に親しみ、楽しさを感じる。
- 学級の友達や教師と一緒に、簡単なルールのあるゲームなどを楽しむ。
- 5歳児 ○ 友達と一緒にプール遊びを楽しみながら、自分なりのめあてに向かって繰り返し取り組んだり、挑戦したりしようとする。
- 自分の思いを伝えたり相手の考えを聞いたりしながら遊びを進めていく楽しさを味わう。

